

食品廃棄物を再利用

環境テクシス

堆肥化プラントが稼働

農家へ
販売 ネット利用も検討

【豊川】環境ベンチャーの環境テクシス（本社豊川市小田洲町三の五一、高橋慶社長、電話0533・87・5512）はこのほど、食品工場の廃棄物を原料とした「堆肥化プラント」を本格稼働させた。リサイクル機運の高まりを背景にして、廃棄物の引き取り先を増やし、肥料化して農家などに販売していく計画。五年後の二〇一二年度（二〇一二年十二月期）に売り上げ一億円を目指している。

同社は二〇〇五年の設立。今年一月に産業廃棄物処分業の許可を取得して、二月以降はプラント試運転を行ってきた。食品工場などで発生する廃棄物が肥料の原料。

食品工場から有料（一ト当たりおよそ二万円）で廃棄物を引き取り、プラントへ運搬、発酵させて肥料にする。肥料は現在、名古屋大学付属農場で試験的に使用して検証
.....
専用プラント区とついでに
る肥料



中だが、土壌改良や植物の成長促進などに効果があるという。現在は一社と契約を結んでおり、食品製造工場

の排水処理でたまる汚泥を、月間約二十ト引き取って約二トの肥料をつくらしている。今後、原料となる廃棄物の仕入れ先を増やし、より高品質な肥料をつくり農家などに販売していく計画。肥料をインターネット通販することも、検討していきたい考え。